

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		どんぐり		公表日 令和 6年 10月 31日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・定められた基準を満たしています。 ・利用人数が多い日には、人数を分けての活動も行なっております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・配置基準以上の職員を配置しており、職員の急な休みにも対応出来るようにしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・子ども一人一人に合わせた配慮をしています。必要であれば視覚的に個別スケジュールを提示したりもしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・毎日清掃を行ったり、随時消毒等も行ない、衛生面にも気を配って不快感を与えないようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・個別室や運動の部屋を用意し、子どもの状態に合わせて使用できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・各クラス会議や調整会議など、定期的に様々な会議を行ない、情報の共有化を行なっています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・保護者アンケートの実施や、保護者面談などで、意向等を把握出来るようにしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・会議や個別面談等で、職員の意見を把握出来るようにしており、課題を共有して、業務改善に繋がっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・令和6年6月に福祉サービス第三者評価を受診しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・年間を通して全職員が研修に参加出来るように計画を立てたり、法人内研修も定期的実施しています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・ガイドラインに沿った支援プログラムを作成し、ホームページ内で公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・クラス会議や保護者面談を通して、定期的にニーズや課題の分析して、個別支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・こどもの発達状態を確認し、職員間での話し合いのもと、個別支援計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・個別支援計画の内容を共有し、クラス会議などで、個別支援計画に沿った話し合いを行ない、支援に繋がっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・標準化された発達検査（遠城寺式発達検査、K式発達検査など）を実施したり、日々の行動を観察して、アセスメントを行なっています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・保護者の要望や子ども本人の主訴や意向を聞き取り、子どもの発達状況に応じて関係機関とも共通理解を図りながら、ガイドラインに沿って支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・各クラス職員や上司と話し合い、活動プログラムを立案しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・曜日別利用の子もいるので、活動が固定化しないように配慮したり、意欲的に取り組めるようなプログラムを考えています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・集団活動を中心に、個別活動も実施し、個別支援計画を個々に合わせて作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・前日の終礼時と当日の朝礼時に様々な確認をして、連携して支援を行なえるようにしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・朝終礼等で共有を図り、支援の振り返りも適時行なっています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・毎日その日の支援に関する記録を行ない、職員間で話し合う機会を設けています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的に保護者との面談を行ったり、必要に応じて、随時見直しを行なっています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・担当職員や児童発達管理責任者等が参画しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・関係機関研修の実施や、常に何かあれば連絡が取れる体制を整え、連携した支援が出来るようにしています。
	26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保育所等訪問の実施や、保護者や関係機関との話し合いなどを通して、支援内容の共有や移行に向けた共通理解を図るようにしています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・情報共有をしっかりと行ない、相互理解を図るようにしています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		・関係機関研修や子ども部会等を通して連携を図ったり、地域全体で支援の質が向上出来るように取り組んでいます。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・計画的に外部研修に参加してもらったり、STやPT、OTの先生を招いた研修も実施して、助言を受けています。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・各市町村の自立支援協議会や子ども部会に参加しています。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・地域のこども園等との交流を年に3回は実施出来るようにしています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時やおたより帳で、その日の活動内容や子どもの様子などを伝え、共通理解を持てるようにしています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・子育てサロンやペアレントトレーニングの開催や、保護者参加の研修を実施したりしています。また、どんぐりだよりを毎月発行し、子育てに関する情報提供をしています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・年度当初や契約時に説明を行なって、同意を得ています。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・年3回の保護者面談を通して、子どもや家族の意向を確認しています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・保護者面談時に、個別支援計画に沿って話を行ない、評価や目標、支援内容について同意を得ています。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・面談等で相談にのったり、必要時には随時、相談に応えることが出来るようにしています。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・定期的に保護者会を開催したり、給食試食会や親子ムーブメント、子育てサロンなどを通して、保護者同士で交流する機会を設けています。		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情受付ボックスの設置や、相談等がある時にはすぐに対応出来るようにしています。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・月1回活動内容や行事予定を配布したり、HPやSNSを活用した周知や活動の様子発信などをしています。		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・保護者には契約時に、個人情報に関する事について説明し、同意をいただいています。また、行事等での写真撮影やSNS投稿についても、ご配慮いただくようお願いしております。 ・職員には、個人情報守秘義務の誓約書を入社時に書いてもらい、定期的に会議等で注意喚起も行なっています。		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・必要に応じて、分かりやすい説明をしたり、相談員や支援員と連携を図るようにしています。		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・運動会などの行事に招待したり、地域の方の畑をお借りしての野菜の収穫なども行なっています。		
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルの作成や保護者への周知を行ない、様々な想定で月1回以上、避難訓練を実施しています。	
		46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPの策定や定期的な更新を行ない、BCPに沿った訓練を実施しています。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・フェイスシートで事前の確認や、保護者面談で定期的に確認を行ない、服薬等についてもお聞きしています。また、その対応等についても話し、安心して日中生活を過ごしていただけるよう配慮しています。		
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者と話し合いを設けて、個々にあった対応を行なっています。保護者の方にも、献立表をお渡しし、確認をしてもらっています。そして、医師の指示書（アレルギー疾患生活管理指導表）に基づく対応をしています。		
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、計画に沿って研修や訓練を実施することで、安全管理に努めています。		
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・災害時の引き渡し訓練の実施など、家族との連携を図り、取組み内容についても周知しています。		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットはその日の終礼で周知・共有し、再発防止策を考えています。		
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・毎月、虐待防止に関する研修を行ない、職員間での共通理解や風通しのいい園づくりを目指しています。		
53		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・重要事項説明書に身体拘束適正化委員会の設置を記載し、説明をしています。また、やむを得ず必要な場合には、保護者と話し合い同意をいただき、支援計画にも記載しています。		